

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年10月23日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年10月23日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<b>【5号機 消火配管手動弁の操作不良について】</b> 当直員が消火配管の手動弁3個(5号機南側隔離弁、5号機東側隔離弁、5号機タービン建屋入口仕切弁)が腐食のため、閉操作できないことを確認。 当該弁の閉操作不良による消火機能に支障なし(当該弁は通常「開」運用)。 今後、点検修理予定。	GⅢ	10月15日
2	<b>【既設淡水化装置(RO3-2)処理水出口導電率計の指示不良について】</b> 当直員が免震重要棟において、既設淡水化装置(RO3-2)の運転中、処理水出口導電率が高いことを知らせる警報の発生を確認。 指示計ケーブル端子の緩みはないが、制御盤の扉開閉時、導電率計の指示が変動したため、振動によるケーブルの接触不良と推定。 RO3-2は停止し、RO3-3に切替を実施。 今後、当該制御盤のケーブル点検、交換を予定。	GⅢ	10月19日